

キャラクター名  
星影 恵 (ほしかげ めぐ)

プレイヤー名

シンドローム	バロール		ワークス	傭兵	カヴァー	高校生
	バロール					
オプション			年齢	15歳	性別	女
覚醒	生誕	衝動	妄想	初期侵食率	31	%
出自	結社の一員	経験	記憶喪失	邂逅	自身	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	0	1	0			1	行動値	16
感覚	2	0	2	2		6	(非装備時)	16
精神	4	0	0			4	戦闘移動	21
社会	2	0	0			2	全力移動	42

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	6		RC			交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	4	
運転:航空機	2		芸術:			知識:			情報:軍事	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ボルトアクションライフル	射撃	6r+6		8		同工不可/マイナー消費で命中+5
【黒木春菊】	射撃	9r+11	C8	23		武器効果>1+2+3
/100↑	射撃	10r+11	C7	26		武器効果>1+2+3

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ウェポンケース	
携帯電話	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
時使い	P	N		
記憶の中の誰か	P 幸福感	N 悔悟		
アシュレイ=ホライゾン	P 慕情	N 疎外感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 12    残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
C:バロール	2	2	Xジャー	-	-	シールド	-	
効果:	判定のC値-Lv (下限7)							
巨人の斧	5	3	Xジャー	-	-	射撃	-	
効果:	攻撃力+Lv×3。判定ダイス-2							
黒星の門	5	2	Xジャー	-	-	シールド	-	
効果:	判定ダイス+Lv+1。同工不可を無視							
斥力の槌	3	2	Xジャー	-	単体	シールド	-	
効果:	ダメージ条件、Lv×2m強制移動							
因果歪曲	2	3	Xジャー	-	範(選)	シールド	-	
効果:	シリアLv。対象を変更							
魔神の心臓	5	4	Xジャー	-	-	シールド	100	
効果:	R間、対象の判定ダイス-Lv×3							
リミテッドイモータル	4	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	HPをLv×2点回復							
時の棺	★	10	オート	視界	単体	自動	100	
効果:	シリア0。判定直前、自動失敗にする。							
時間凍結	★	5	インシアガ	至近	自身	自動	80	
効果:	シリア0。即XインP吐き追加。HP20消費							
ディメンジョンゲート	★	3	Xジャー	至近	効参	自動	-	
効果:	空間を捻じ曲げてゲートを作る							
効果:								
効果:								
効果:								

【経歴】  
 中学二年の夏休み。  
 そろそろ義務教育後の進路を考え始めなければという具体的なスタートラインはあたしの場合、机の上に山と積まれた礼束から始まった。

「え、なにこれ？」  
 「いままで話したこと無かったけどじつはね。メグちゃんの扱いってUGNチルドレンの、予備軍みたいなものなんです」

真剣な、あたしの人生に深くかかわる話をするとき。  
 ひとりの人間として敬意を払い、敬語で接してくれる。それがあたしの母親だった。

あたしが血のつながらない娘だということは、とっくの昔に知っていた。  
 だって容姿が全然似てないし。母が負い目なくさらっと答えてくれたから、ああこれでいいのかと安心したのを憶えている。  
 今回明かされたのはその追加情報。  
 なんでもあたしを捨てたのはUGNの職務中で、本来はチルドレンとしてUGNに引き取られるはずだった、らしい。  
 しかし現地の支部は貧国の貧弱なところで、周囲一帯を含めそれ以上チルドレンを育成する余力は無かった。  
 あたしが強力なオーヴァードの素質を持って余していたこともあり、あやうくたらい回しにされそうだったところを、当時すでに一児の母だった彼女が

「だったらあたしが引き取って育てるわ」

の鶴の一声で連れ帰ったそうだ。  
 しかし、あたしの名前はしっかりUGNに登録済みであり、『事情があり施設に引き取れなかったチルドレン候補生を自宅で保護育成している』という扱いで、毎月けっこうな額の養育費がUGNから振り込まれていたらしい。